

大学院環境科学院 アセスメント・ポリシー

平成31年1月31日

(目的)

- (1) 大学院環境科学院では「北海道大学アセスメント・ポリシー」に基づき、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）で示された教育目標への到達度を高めるために教学アセスメントを実施する。

(実施体制)

- (2) 大学院環境科学院の教学アセスメント実施責任者は、学院長とする。
- (3) 大学院環境科学院の教学アセスメントは、大学院環境科学院点検評価委員会において実施する。

(実施及び分析)

- (4) 大学院環境科学院の教学アセスメントは、別に定めるアセスメント・チェックリストにより実施する。
- (5) 評価結果を参考とした教育改革の内容は、積極的に公表する。
- (6) 教学データの取り扱いについては、本学の関係規程等を遵守し、個人情報等の保護につとめる。

環境科学院 環境起学専攻 アセスメント・チェックリスト

環境科学院環境起学専攻の学位授与水準(DP)

DP1	・自己の専門領域に関する高度な体系的知識と分析力, および, それらに基づいた論文を執筆する力【DC】
DP2	・複数の専門領域を通して, 俯瞰的な発想力および独創的な問題発見力【DC】
DP3	・持続可能な社会に向けて, 国際的に貢献する研究力, 実務力【DC】
DP4	・幅広く高度な環境科学に関する知識とその深い理解【MC】
DP5	・基礎科学に基づく, 優れた観察・調査・分析を通じて現状を知る力【MC】
DP6	・現状を客観的に報告し, 問題解決に向けて論じる力【MC】
DP7	・問題解決に向けて, さらに必要となることを学ぶ力【MC】

番号	名称	実施時期	周期	対象	内容, 質問項目等	手法	評価者	結果の活用方法	実施者
1	授業アンケート	7月, 1月	毎年	(修士)1~2年生	・授業の満足度 ・授業の理解度 ・学習状況	質問紙	学生	結果を学内に公表し, 教員に教育方法改善の指針を与える。	環境科学院
2	成績評価	4月, 10月 随時	毎年	(修士)1~2年生 (博士)1~3年生	・成績の点検 ・研究進捗の点検	・履修指導時に点検する ・発表会, コメントシート	環境起学専攻 学生指導関係 教員	成績及び研究進捗状況をもとに履修指導及び研究指導を行う。	環境科学院環境起学専攻
3	大学院生調査	随時	1年に 1回	(修士)1~2年生 (博士)1~3年生	・学習状況 ・コンピテンシーの習熟度	Webアンケートシステム	学生	教職員に開示して今後の教育制度改革の参考とする。	総合IR室
4	環境科学院アンケート	2~3月	毎年	(修士)1~2年生 (博士)1~3年生	・カリキュラム, 研究指導の満足度等	質問紙	学生	専門科目のカリキュラム改善を行う。	環境科学院
5	企業等調査 (就職先調査)	1~3月	3年に 1回	修了生の就職先	・企業等からのアドバイス	質問紙	企業等の職員	評価に基づき, カリキュラム改革を検討する。	総合IR室
6	DPIによるカリキュラム点検	随時	3年に 1回	カリキュラム	・DPを実現できるカリキュラムになっているかの点検	ナンバリング, カリキュラムマップなどによるDPとカリキュラムの相互参照	環境起学専攻 学生指導関係 教員	DPとカリキュラムのバランスが悪い場合はいずれかを調節する。	環境科学院環境起学専攻

環境科学院 地球圏科学専攻 アセスメント・チェックリスト

環境科学院地球圏科学専攻の学位授与水準(DP)

DP1	・自己の専門領域に関する幅広く高度な体系的知識と分析力【DC】
DP2	・自己の専門に関連する環境問題に関して責任ある発言が可能となる科学的な知見と客観的な視点 【DC】
DP3	・自立した研究者に必要な独自の研究課題を発見する力, 困難な問題解決を可能とする洞察力と柔軟な発想力 【DC】
DP4	・地球圏科学を基盤とした幅広く高度な自然科学・環境科学に関する知識とその深い理解 【MC】
DP5	・修士論文研究を遂行する過程で修得する現象観察力と分析力, および課題発見力と研究推進力 【MC】
DP6	・地球圏科学の専門知識もしくはそれに用いられる技術を必要とする職業を担うための能力 【MC】
DP7	・地球圏科学の基礎および専門知識を修得するための, 英語文献も対象とする, 情報収集能力 【MC】

番号	名称	実施時期	周期	対象	内容, 質問項目等	手法	評価者	結果の活用方法	実施者
1	授業アンケート	7月, 1月	毎年	(修士)1~2年生	・授業の満足度 ・授業の理解度 ・学習状況	質問紙	学生	結果を学内に公表し, 教員に教育方法改善の指針を与える。	環境科学院
2	成績評価	4月, 10月 随時	毎年	(修士)1~2年生 (博士)1~3年生	・成績の点検 ・研究進捗の点検	・履修指導時に点検する ・発表会, コメントシート	地球圏科学専攻学生指導関係教員	成績及び研究進捗状況をもとに履修指導及び研究指導を行う。	環境科学院地球圏科学専攻
3	大学院生調査	随時	1年に1回	(修士)1~2年生 (博士)1~3年生	・学習状況 ・コンピテンシーの習熟度	Webアンケートシステム	学生	教職員に開示して今後の教育制度改革の参考とする。	総合IR室
4	環境科学院アンケート	2~3月	毎年	(修士)1~2年生 (博士)1~3年生	・カリキュラム, 研究指導の満足度等	質問紙	学生	専門科目のカリキュラム改善を行う。	環境科学院
5	企業等調査 (就職先調査)	1~3月	3年に1回	修了生の就職先	・企業等からのアドバイス	質問紙	企業等の職員	評価に基づき, カリキュラム改革を検討する。	総合IR室
6	DPIによるカリキュラム点検	随時	3年に1回	カリキュラム	・DPを実現できるカリキュラムになっているかの点検	ナンバリング, カリキュラムマップなどによるDPとカリキュラムの相互参照	地球圏科学専攻学生指導関係教員	DPとカリキュラムのバランスが悪い場合はいずれかを調節する。	環境科学院地球圏科学専攻

環境科学院 生物圏科学専攻 アセスメント・チェックリスト

環境科学院生物圏科学専攻の学位授与水準(DP)

DP1	・自己の専門領域に関する幅広く高度な体系的知識と分析力【DC】
DP2	・自己の専門に関連する環境問題に関して責任ある発言が可能となる科学的な知見と客観的な視点【DC】
DP3	・自立した研究者に必要となる独創的な研究課題を発見する力, 困難な問題解決を可能とする洞察力と柔軟な発想力【DC】
DP4	・英語論文を書く能力および海外に研究成果を発信する能力【DC】
DP5	・生物圏科学を基盤とした幅広く高度な自然科学・環境科学に関する知識とその深い理解【MC】
DP6	・修士論文研究を遂行する過程で修得する現象観察力と分析力, および課題発見力と研究推進力【MC】
DP7	・生物圏科学の専門知識もしくはそれに用いられる技術を必要とする職業を担うための能力【MC】

番号	名称	実施時期	周期	対象	内容, 質問項目等	手法	評価者	結果の活用方法	実施者
1	授業アンケート	7月, 1月	毎年	(修士)1~2年生	・授業の満足度 ・授業の理解度 ・学習状況	質問紙	学生	結果を学内に公表し, 教員に教育方法改善の指針を与える。	環境科学院
2	成績評価	4月, 10月 随時	毎年	(修士)1~2年生 (博士)1~3年生	・成績の点検 ・研究進捗の点検	・履修指導時に点検する ・発表会, コメントシート	生物圏科学専攻学生指導関係教員	成績及び研究進捗状況をもとに履修指導及び研究指導を行う。	環境科学院生物圏科学専攻
3	大学院生調査	随時	1年に1回	(修士)1~2年生 (博士)1~3年生	・学習状況 ・コンピテンシーの習熟度	Webアンケートシステム	学生	教職員に開示して今後の教育制度改革の参考とする。	総合IR室
4	環境科学院アンケート	2~3月	毎年	(修士)1~2年生 (博士)1~3年生	・カリキュラム, 研究指導の満足度等	質問紙	学生	専門科目のカリキュラム改善を行う。	環境科学院
5	企業等調査 (就職先調査)	1~3月	3年に1回	修了生の就職先	・企業等からのアドバイス	質問紙	企業等の職員	評価に基づき, カリキュラム改革を検討する。	総合IR室
6	DPによるカリキュラム点検	随時	3年に1回	カリキュラム	・DPを実現できるカリキュラムになっているかの点検	ナンバリング, カリキュラムマップなどによるDPとカリキュラムの相互参照	生物圏科学専攻学生指導関係教員	DPとカリキュラムのバランスが悪い場合はいずれかを調節する。	環境科学院生物圏科学専攻

環境科学院 環境物質科学専攻 アセスメント・チェックリスト

環境科学院環境物質科学専攻の学位授与水準(DP)

DP1	・化学を基盤とした環境科学に関する研究者としての活動に必要な専門的かつ先端的な研究能力【DC】
DP2	・高度な専門性を必要とする職業を担うことのできる知識と問題解決能力【DC】
DP3	・英語論文を書く能力および自己の研究を国際的に発信できる能力【DC】
DP4	・化学を基盤とした環境科学に関する豊かな知識と理解力【MC】
DP5	・研究を遂行するための情報収集能力、分析力および問題解決能力【MC】
DP6	・化学を基盤とした環境科学に関する専門知識および技術を必要とする職業を担うための能力【MC】

番号	名称	実施時期	周期	対象	内容、質問項目等	手法	評価者	結果の活用方法	実施者
1	授業アンケート	7月、1月	毎年	(修士)1~2年生	・授業の満足度 ・授業の理解度 ・学習状況	質問紙	学生	結果を学内に公表し、教員に教育方法改善の指針を与える。	環境科学院
2	成績評価	4月、10月 随時	毎年	(修士)1~2年生 (博士)1~3年生	・成績の点検 ・研究進捗の点検	・履修指導時に点検する ・発表会、コメントシート	環境物質科学 専攻学生指導 関係教員	成績及び研究進捗状況をもとに履修指導及び研究指導を行う。 必修科目について不合格者には再履修指導を行う。	環境科学院環境物質科学専攻
3	大学院生調査	随時	1年に 1回	(修士)1~2年生 (博士)1~3年生	・学習状況 ・コンピテンシーの習熟度	Webアンケートシステム	学生	教職員に開示して今後の教育制度改革の参考とする。	総合IR室
4	環境科学院アンケート	2~3月	毎年	(修士)1~2年生 (博士)1~3年生	・カリキュラム、研究指導の満足度等	質問紙	学生	専門科目のカリキュラム改善を行う。	環境科学院
5	企業等調査 (就職先調査)	1~3月	3年に 1回	修了生の就職先	・企業等からのアドバイス	質問紙	企業等の職員	評価に基づき、カリキュラム改革を検討する。	総合IR室
6	DPによるカリキュラム点検	随時	3年に 1回	カリキュラム	・DPを実現できるカリキュラムになっているかの点検	ナンバリング、カリキュラム マップなどによるDPとカリ キュラムの相互参照	環境物質科学 専攻学生指導 関係教員	DPとカリキュラムのバランスが悪い場合はいずれかを調節する。	環境科学院環境物質科学専攻